

市の人口	
(昭和61年4月1日現在)	
世帯数	53,053世帯(前月比177世帯増)
人口	166,418人(前月比385人増)
男	82,563人
女	83,855人

# 宇治市政だより

4/21  
昭和61年  
(1986年)  
第735号

発行 京都府宇治市  
編集 広報課  
〒611 京都府宇治市  
宇治長徳33番地  
電話 (0774)22-3141  
●毎月1日・11日・21日発行



この事業は、在宅障害者が総合福祉会館(身体障害者福祉センター)へ通いながら、日常生活訓練や創作活動・軽作業などをすることで、障害者の自立と生きがい意識の高揚を目的としています。一写真は61年3月、コーラス教室—

## 在宅障害者デイサービス

### 新たに10事業を実施

在宅障害者の自立と生きがい意識の高揚を目的として、日常生活訓練や社会適応訓練などを障害の程度に応じて行っている「在宅障害者デイ・サービス事業」。

三年目を迎えた今年度は、視覚障害者を対象に点字教室、聴覚障害者を対象にワープロ教室など十事業を新設し、二十六事業で四月からスタートしています。機能訓練と仲間との交流の中から、在宅障害者の社会参加のきっかけが生まれています。

### 自立と生きがい意識を

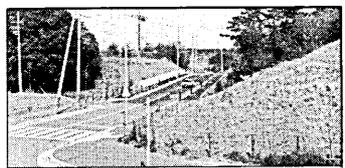
#### ワープロ・点字教室も開設

三年目を迎えた「在宅障害者デイ・サービス事業」。昭和六十一年度は、新規十事業を加えた二十事業で行いました。新たに実施する事業では、視覚障害者を対象にワープロ教室、聴覚障害者を対象に点字教室、聴覚障害者を対象に点字教室、聴覚障害者を対象に点字教室を開課。

このデイ・サービス事業は、三年目を迎えた「在宅障害者デイ・サービス事業」。昭和六十一年度は、新規十事業を加えた二十事業で行いました。新たに実施する事業では、視覚障害者を対象にワープロ教室、聴覚障害者を対象に点字教室、聴覚障害者を対象に点字教室を開課。

#### 4月から6教室で受講者を募集

- ①日常生活訓練
  - 医療機関などで治療・訓練を終えた障害者が、機能低下を防ぐために、機能回復訓練、歩行の方法講習会、社会適応訓練
  - 障害程度の違いを考慮して行います。生花・料理・茶道教室や点字教室。
- ②ワープロ教室
  - 四月から次の事業の参加者を募集します。申し込み・問い合わせは、社会福祉協議会(0774)6554まで。
  - ③機能回復訓練
    - 内容：各種医療機器を利用しながら、一人ひとりに合った機能訓練をします。
    - ④点字教室
      - 毎月第三火曜日(医師に時間指授が受けられます)。
      - ⑤聴覚障害者教室
        - 毎月第一日曜日(午後7時～9時)。
        - ⑥コーラス教室
          - 毎月第一日曜日(午後7時～9時)。
          - ⑦ワープロ教室
            - 毎月第一日曜日(午後7時～9時)。
            - ⑧点字教室
              - 毎月第一日曜日(午後7時～9時)。



この種 都市計画課川東大塚の一部に遊歩道上り付近から五ヶ庄公園(黄塚公園)フル即ちまで

川東京大線 一部供用を開始

の延長七段六・カイートルが完成。三月二十七日から供用を開始しています。

### 歴史資料館 春の企画展

## やましろの大池

—巨椋池の移り変わり—



現在の宇治市の西部、小倉・伊勢田から西北にかけては、水田が広がっており、水田が広がって進んでいます。この辺りには昭和16年ごろまで、周囲16ha、面積8平方キロの大きな池があり、巨椋池と呼ばれていました。この巨椋池の姿を再現し、そこで暮らした人々の歴史を探ります。

6月29日まで(月曜・祝日は休館)  
午前9時～午後5時  
入場無料  
歴史資料館(折居台1丁目・☎1311)

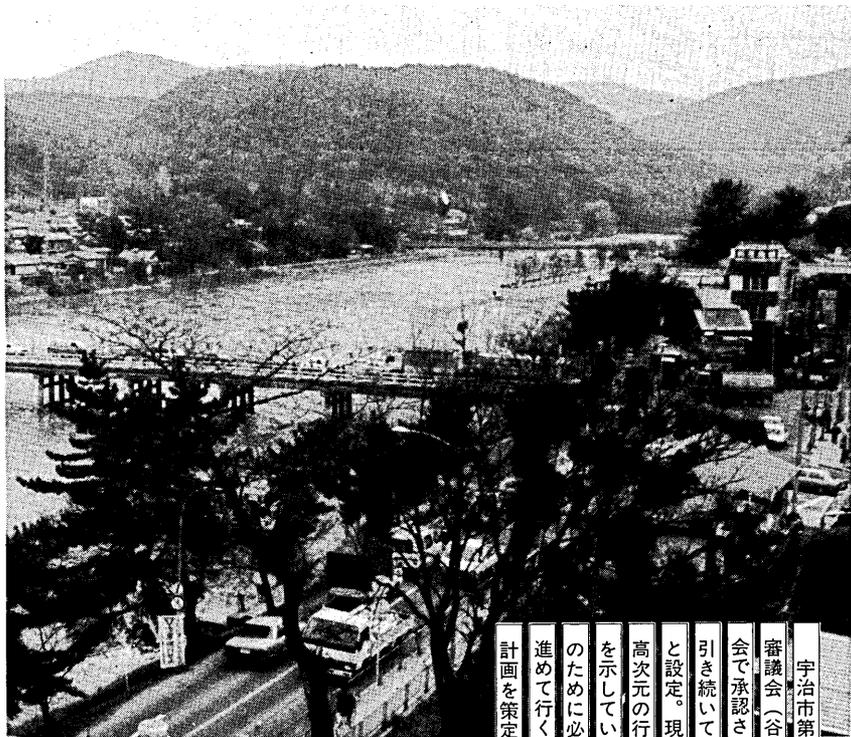


### さくらまつりに15万人

12・13日 塔の島一帯で

快晴に恵まれた4月12・13日の両日、府立宇治公園の塔の島一帯で第10回宇治川さくらまつりが開かれました。今を盛りに咲き乱れる桜のトンネルをくぐり、訪れた人は15万5千人。抹茶・煎茶の野だて席は茶に親しむのであふれ、炭山陶器まつりや土ひねりの会場では、威勢のいい掛け声や子どもたちの歓声が終日響いていました。





# 特集

## 宇治市第二次総合計画

……あるべき姿を展望して

# 緑豊かな住みたい 住んでよかつた都市に

宇治市第二次総合計画は、去る二月二十七日、宇治市総合計画審議会(谷岡武雄委員長)から池本市長に答申、市議会三月定例会で承認されました。本市のあるべき姿を、第一次総合計画に引き続いて「みどりゆたかな、住みたい、住んでよかつた都市」と設定。現在の高齢化、情報化、国際化の時代環境の中で、より高次元の行政課題に基づき、新しい都市形成の目標と施策の指針を示しています。第二次総合計画は、将来の本市の理想像と、そのために必要な課題や施策を示したもので、七十年までの行政を進めて行く基本となります。なお市では、計画を具体化する実施計画を策定し、施策の実現を目指すことにしています。

### 自然・産業・住宅の 適正な調和を図る

#### 基本構想

基本構想では、本市の地理的条件や歴史的背景、人口動態、産業構造等から、七十年の人口(適正人口)を十八万四千と設定。そして、人間尊厳の生活環境の整備「健康で明るい市民生活の実現」「教育文化の向上」この基本理念に基づき、基本構想として、次の五つを定めています。

①市民自治の確立を目指す

### 地域福祉の推進と 生活環境の整備

#### 基本計画

宇治地区は、歴史的・文化的遺産を保持し、市の観光拠点としての整備を図り、大久保駅周辺地区は本市副都心の開発を図る。市街地の形成を図る。

(5)市街地整備ゾーン(その外の地区)  
市街地での緑地保全計画的整備整備を行い、快適な住環境、良好な市街地形成を図る。工業地の形成も図る。

▼住宅―既設市住宅を建て替え、住宅の質的向上を図る。併せて、住宅周辺の環境整備を努める。

▼公園―緑地―収集・処理体制の確立と、減量化・再資源化の推進を図る。



## 治市の姿(都市像)

人間は都市を創った。都市は、人間が居住する空間である。都市は、市民の参加によつてのみ、住みよくなり変えられる。

青い空、きれいな水、そして豊かな緑を基盤として、そこに住む人間が知恵を寄せ合い、固有の文化と天与の自然環境を生かし、人間の都市空間を造型する都市

全ての市民が、人間尊重の理念に基づき、健康で明るくさわやかな暮らしを目指し、市民的愛情が通い合う地域社会を形成する都市

誇るべき文化遺産を守り、それを糧として、新しい市民文化を創造し、自由で豊かな人間性が養われ、自立の人間が生み出される都市

明日の宇治市は、このような姿でありたい

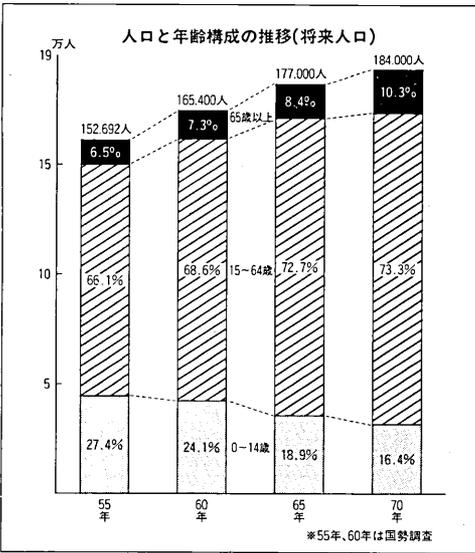
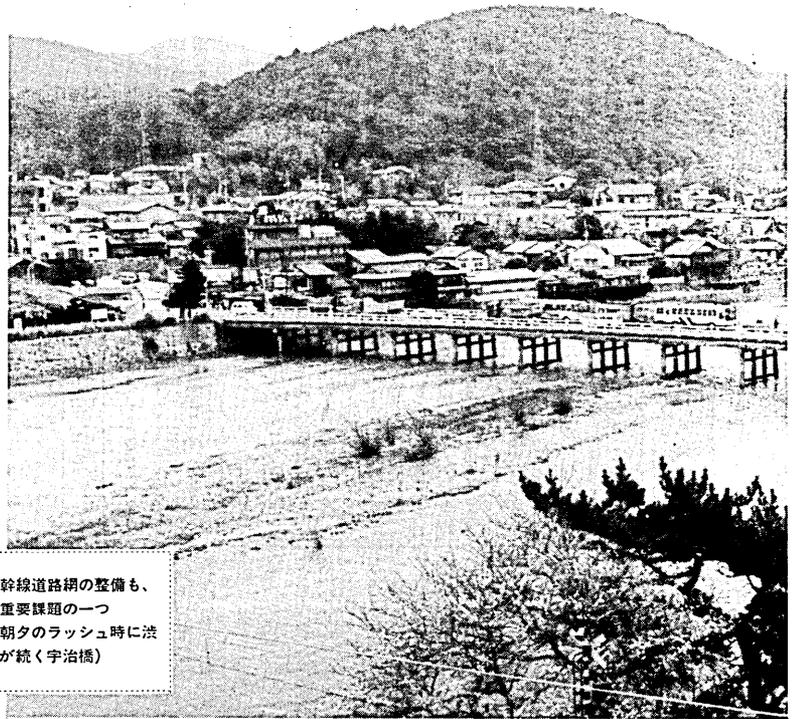
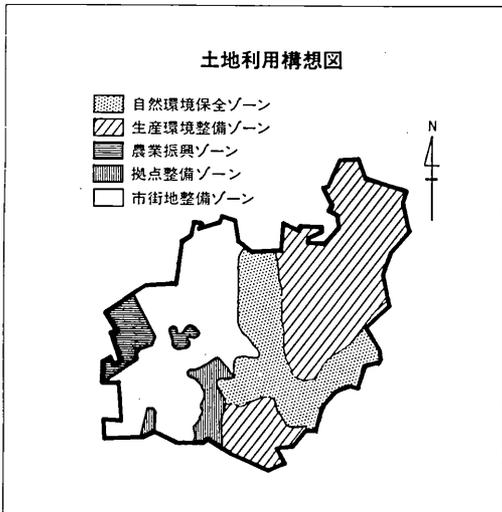
我々は、ここにみどりゆたかな住みたい、住んでよかつた都市をつくらうとする

我々はそれ故に、都市像の主柱を次のように設定する。

①市民がつくる緑と水の都市

市民生活の中で連帯感がはぐくまれ、市民の一人ひとりが住みよい地域社会を築くために努力し、美しい自然と豊かな歴史に恵まれた郷土を愛し、進んでまちづくりに参加する都市。これが、我々の目指す人間中心の都市である。

それは、市民自らが



幹線道路網の整備も、最重要課題の一つ(朝夕のラッシュ時に渋滞が続く宇治橋)

て、自発的なコミュニティ活動の促進と、市民参加の市政を推進する。市民の権利の保障を自覚し、総合的な自治を推進する。健康で豊かな暮らしを目指し、市民生活の向上と社会福祉の増進を最大の課題とする。市民生活の向上と社会福祉の増進を最大の課題とする。市民生活の向上と社会福祉の増進を最大の課題とする。

基本計画は、基本構想で示された五つの施策を柱として、市民自治の確立を目指して、地域でのコミュニティ活動を促進するため、住民意識の充実と、活動基盤となる施設の充実及びコミュニティリーダーを育成し、行政・広聴活動の充実を図り、行政への市民参加を図る。

▽国民健康保険・医療費の適正化と、国庫補助の健全化を図る。  
▽保健衛生・高齢化社会に向けての成人や老人に対する健康増進のシステムを構築し、福祉サービスとの有機的連携も検討。  
▽農林業・都市部の立地条件を生かした産業を推進し、生産性の向上と近代的農業経営の確立に努力。また、造林事業の推進を図ると共に、森林資源の保全を図る。  
▽商工業・工場等の適地移転による団地化や、拠点商業地区整備の促進、産業会館建設を図る。  
▽観光・観光地整備に努めると共に、新しい観光コースの開発で、面的観光への発展を図る。  
▽学校教育・教育内容の充実と、児童生徒の減少に伴い、教室の転用を図ると共に、教室の転用を図ると共に、教育活動の多様化に対応する施設の充実を図る。  
▽幼児教育・幼児の減少に伴い、幼稚園の適正規模化や、二年保育について検討。  
▽社会教育・市民の学習機会を増やし、高齢者の学習機会や健康保持・役立つ施策の充実を図る。  
▽青少年の健全育成・家庭・学校、地域社会のそれぞれの分野での施策の推進を図る。  
▽スポーツ・スポーツに対する市民意識の高揚や、スポーツ指導員制度の確立を図ると共に、団体推進に努める。  
▽市民文化・市民文化向上のため、市民の文化活動の活性化を図り、文化事業を奨励。また文化財保護活動を推進。  
▽国際交流・友好都市提携をはじめ、国際的な交流の条件づくりを推進する。  
⑤安全で快適な暮らしの場を目指して  
▽防災・防災意識の高揚と、自主防災組織を育成し、地域防災体制の確立に努める。  
▽消防・救急・消防力の強化の整備に努める。

▽下水道・水を安定して供給するため、水質の確保を、給水能力の向上に努める。  
▽下水道・近代都市にとって不可欠の公共下水道の供用を開始し、更に計画的に事業を推進する。  
▽緑地・市民憩いの場としても利用出来る緑地公園の建設を検討。  
▽通信・情報化・市民生活に役立つ情報や通信に関する各種情報システムの導入計画の確立に努める。  
▽自然環境の保全・保護区域指定の拡充や、自然環境の保護に努める。  
▽緑地の推進・緑化への市民意識の高揚や、緑化運動の推進を図る。また、公共施設の緑化にも努める。  
▽山間地対策・地場産業の振興や、道路など生活環境の整備に努める。また、豊かな自然環境を生かした観光レクリエーション地としての整備を検討。  
▽土地利用・都市基盤を計画的に整備し、適切な用途地域指定を検討。  
▽道路・市域全体の道路体系を確立し、幹線道路、生活道路をそれぞれ機能に応じた整備を図る。  
▽公共交通・輸送力の増強や安全性、快適性の向上が得られるよう、要請を行う。  
▽公園・緑地・市民憩いの場の整備・充実を図ると共に、自然緑地の保全に努める。  
▽河川・排水・水害に強いまちづくりを目指す。河川や排水路の改修・整備に努めると共に、流出抑制施設の検討、防災システムの強化を図る。  
▽駅前整備・都市計画決定されている駅前広場の整備を推進し、駐輪場の設置に努める。

市では、これらの施策の実現に当たっては、市民の皆さんの協力を得ることによって、効果的な行政の運営を図り、柔軟性を持った執行体制の整備に努める。

③歴史にかかわる文化創造の都市  
美しい景観と、古い歴史を基盤にして、現代に生きる市民がそれぞれの人格と知性の向上を図り、特色のある文化を創造する都市。これが、我々の目指す教育文化都市である。

それは、先人が守り育てて来た良き伝統を受け継ぎ、優れた文化遺産の中から先人の知恵と心を学び取り、これらを基にして高い知性と豊かな人間性をはぐくみ、諸施設の整備によって教育の充実と向上を図り、地域社会のスポーツや文化活動を盛んにし、市民の暮らしの中から、新しい文化が創造される薫り高い都市である。

## 明日の宇

住民自治の確立に努めると共に、宇治市の顔であり、生活基盤であるお茶と山なみ宇治川はもとより、誇るべき自然の・歴史的環境を愛し、自然を導き入れ、緑あふれる環境をつくり出し、住みたい、住んでよかったと感じることの出来る生活環境が造型される都市である。

②健康で豊かな暮らしを目指す都市  
人間尊重の理念に基づき、全ての市民の基本的権利が守られ、一人ひとりの暮らしが精神的にも物質的にも満たされ、健康で明るい市民生活を営むことの出来る都市。これが、我々の目指す福祉都市である。

それは、市民の合意をもって生活破壊、環境破壊に対応し、地域産業が自然環境と調和し、市民生活の向上を図ると共に、全ての市民の健康対策を確立し、働く場を整備し、子どもを守り、老人・障害者などにふさわしい暮らしの場を整え、健康で快適な人間環境が作り出される都市である。

